

令和6年度 地域おこし協力隊活動報告

上越市吉川区山直海地区協力隊

関根 照美

上越市吉川区山直海地区活動内容

- (1) 棚田の維持・管理、永田農法による栽培継承
- (2) 遊休農地を再活用した山菜の栽培と販売
- (3) 地域のイベントの参画、運営補助
上越市吉川区北部に位置する4集落（村屋、稲古、川袋、大岩）

活動(1)

棚田の維持・管理、永田農法による栽培継承

(大岩生産組合にて永田農法による稲作の手伝い)

水稻令和6年のスケジュール

- 1月 前年度の決算・苗の注文
- 4月 畔塗・休耕地の耕起・水田の耕起・水路の整備・泥上げ・水入れ
- 5月 代掻き・田植え・電気柵設置
- 6月 追加除草剤・溝切
- 7月 追加除草剤
- 8月 水口を止める
- 9月 稲刈り（永田米に関しては永田研究会重役らが生産者の水田を評価し収穫時期の等級や合図を出す）
- 10月 来年用の牛糞堆肥をまく。永田米研究会でまとめて管理

令和6年度 水稲栽培を通じたの考察と 次回に活かしたいこと

- ・中山間地では水の確保を野生生物との兼ね合いが課題である。水の確保については大岩では用水路があるが、水田の水もれがあり溜まらない場所もある。現在念入りな代掻き以外対策がない。
現在電気柵での対策を行っておりしっかり行えば成果が出ている。
- ・草対策について水田管理の積み重ねが大切であると教わった可能な限り農薬を使わない栽培に近づけてゆきたい。

活動(2)

遊休農地を再活用した山菜の栽培と販売

- ・ 住民の中には趣味の範囲で山菜の収穫、色彩の里への出荷の行っている方がいました。
- ・ 個人で山を開墾しタラの芽などの栽培をしている方がおられ、畑の見学をさせていただきました。

活動(3)

地域のイベントの参画、運営補助

上越市吉川区北部に位置する4集落（村屋、
稲古、川袋、大岩）

▶ 賽の神（2月頃行う神事。正月のお飾り書初めなどを持ち寄り燃やすことによって家内安全、商売反証、五穀豊穰などを願います。語源は邪霊の侵入を防ぐ神→サエギルカミ→サイノカミといわれている。

▶ 棚田保全団体の共同草刈り。
▶ 山の干伐材を用いたきのこの栽培。

▶ 村屋集落月一定例会参加、収穫祭参加（女性達で料理を作る）



参加させていただいた研修一覧

- 4月22日 柿崎を食べる会主催 濃密播種につて
- 5月 7日 サイバーインターフェス主催 稼ぐ街づくり
- 10月 2日 N P O法人ホールアース主催 防災ビジネスキャンプ
- 10月31日 認定鳥獣捕獲者等事業者研修
- 10月21日 柿崎森林組合 重機実演販売イベント
- 11月20日 J A主催 伐木等の業務研修

おまけ

令和6年度野菜栽培と成果

- ①トマト：吉川の中山間地には不向きでした。理由（気温が低いこと雨が多い）
ビニールハウスでプランターでないと収穫が見込めない
- ②さといも：水田からの転作に適している代名詞芋。
日照時間が短くても土壌管理が適当でも適度に収穫できた。
お勧めです。
- ③えだまめ：水田からの転作に適している代名詞であり新潟人の消費量日本一。
肥料や防除なしで作付け可能。日当たりが良ければなんとかなる。
贈答品としても喜ばれる
- ④じゃがいも：やや高畝にする必要がある。元肥だけで適度な収穫ができるの
お勧めです。